

創造性と高度な技術を競い合う

第23回山梨県美容技術

選手権大会を開催

ACTIVE KUMIAI



開会式に臨む参加選手

山梨県美容業生活衛生同業組合（深澤仁理事長）は7月13日、甲府市の、かいてらす（山梨県地場産業センター）において第23回山梨県美容技術選手権大会を開催した。

この大会は、第37回全日本美容技術選手権大会の山梨県予選を兼ねており、成績優秀者は、10月20日に石川県で開催される全国美容技術選手権大会への出場権が与えられる。

大会当日は、美容師と美容専門学校生約80人が参加し、ワインディング、カット&ブロー、ヘアスタイル、留袖付、中振袖着付、ネイル、フリースタイルカット、フリースタイルロング競技の8種目のうち、それぞれがエントリーをおこなった競技種目で日頃から研鑽を重ねてきた成果と技術を競い合った。

競技の評価基準は、ファッション性や芸術性の調和が重視され、独自の創造性・感性が要求されることから、参加選手達は、日頃の鍛錬してきた高度な技術を制限時間内で十分に発揮しようとして、集中し真剣に取り組んでいた。

美容業界では、最新のファッションに敏感な顧客のニーズの多様化が進んでおり、こうした環境下で、より高度で顧客を満足させるための新しい技術の提供が常に求められている。

組合では、美容師個々の技術向上はもとより、業界として次代を担う人材の養成等をこれまで以上に強化し、さらなる業界の発展を目指していることから、この競技大会参加選手から業界のリーダーとなり、活躍していく人材が育つことに期待を寄せている。



制限時間内で技術を競いあった